

1. 科目名 (単位数)	英語学Ⅱ (英語の発音と音声) (2単位)	3. 科目番号	EDEN2307
2. 授業担当教員	阿部裕子		
4. 授業形態	講義、演習、ディスカッション、プレゼンテーション	5. 開講学期	
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	英語音声学の入門書をテキストとし、英語教員を目指すものにとって必要不可欠な英語の発音や音声について基礎的な知識を身につけ英語学的知見を養う事を目標とする。具体的には、音声器官、母音や子音の分類と発音の仕方、音の連結、アクセント、イントネーションについて学習し、実際に英語の発音を聞き取り、自らも発音練習をする。受講生は、近い将来、教育現場で発音指導にあたる事を念頭に置き、自らの英語の発音の矯正に努め、学習した事をどのように教育現場で活かせるか、考察することになる。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世界には様々な英語があるが、英語教員志望の受講生にとって必要不可欠な英語の発音と音声に関する基礎的な事項を理解することができる。</li> <li>2. 将来英語を教える時、児童生徒の発音指導ができるように、まず、正しい発音を聞き取る力と調音する力を向上させ、教師として相応しい手本を示せるようになることができる。</li> <li>3. 学んだ英語の発音と音声の知識を活かし、教育現場で楽しくかつ効果的に英語の発音指導ができるような教え方の素地を養うことができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内容の予習・復習としてテキストの問題 (聞き取り・書き取り) を毎回課す。</li> <li>2. 英語の発音と音声・音読などに関する演習課題をUnit毎に課す。</li> <li>3. 学んだ英語の発音と音声の知識をもとに効果的な英語の発音指導に関するレポートを課す。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 今井由美子 他著『英語音声学への扉—発音とリスニングを中心に』【改訂版】英宝社、2010。 【参考書】 竹林滋・清水あつ子・斎藤弘子『改訂新版 初級英語音声学』大修館書店、2013。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世界には様々な英語があるが、英語教員志望の受講生にとって必要不可欠な英語の発音と音声に関する基礎的な事項を理解することができるようになったか。</li> <li>2. 将来英語を教える時、児童生徒の発音指導ができるように、まず、正しい発音を聞き取る力と調音する力を向上させ、教師として相応しい手本を示せるようになることができたか。</li> <li>3. 学んだ英語の発音と音声の知識を活かし、教育現場で楽しくかつ効果的に英語の発音指導ができるような教え方の素地を養うことができたか。</li> </ol> ○評定の方法 以下の点を総合して評価する <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業中の態度・積極的参加度 総合点の 30%</li> <li>2 小テスト及びレポート課題 総合点の 40%</li> <li>3 期末テスト 総合点の 30%</li> </ol> なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	本授業では、英語の発音や音声に関知識を学ぶだけではなく、正しい発音を聞き取る力、調音する力を向上させ、英語科教員としての実践的コミュニケーション能力や指導力も高めることも目指している。そのためには、授業で扱う事項を繰り返し練習する努力が不可欠となる。教科書付属の CD や DVD を活用して、課題に取り組むことで必ずリスニング・スピーキングの力は必ず向上するので、ぜひ頑張ってもらいたい。		
13. オフィスアワー	授業内(初回の授業)に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション この科目を受講するにあたっての留意点	事前学習	発音記号の載っている英和辞書を準備し講義へ臨むこと。
		事後学習	テキストを概観して授業の流れをつかむ。
第2回	母音について (1) 前舌母音	事前学習	テキスト Unit 1 (pp. 4-5) を読み、音声のしくみと母音について理解しておく。
		事後学習	Practice 1 前舌母音をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。
第3回	母音について (2) 後舌母音	事前学習	既習の発音記号を見て発音できるようにしておく。
		事後学習	Practice 2 後舌母音をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。
第4回	Practice 2 後舌母音をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。	事前学習	既習の発音記号を見て発音できるようにしておく。
		事後学習	Practice 3 中舌母音をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。
第5回	母音について (4) 二重母音	事前学習	既習の発音記号を見て発音できるようにしておく。
		事後学習	母音全体をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。
第6回	子音について (1) 閉鎖音と鼻音	事前学習	Unit 1 (p. 16) を読み、子音について理解しておく。
		事後学習	Practice 6&7 閉鎖音と鼻音をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。
第7回	子音について (2) 摩擦音	事前学習	既習の発音記号を見て発音できるようにしておく。
		事後学習	Practice 8 摩擦音をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。
第8回	子音について (3) 摩擦音と破擦音	事前学習	既習の発音記号を見て発音できるようにしておく。
		事後学習	Practice 9 摩擦音と破擦音をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。
第9回	子音について (4) 側音と半母音	事前学習	既習の発音記号を見て発音できるようにしておく。
		事後学習	子音全体をより正確に聞き取れるよう、付属 CD を通じて繰り返し練習する。

第10回	音節と強勢	事前学習	Lesson 1&2 (p.32&34) を読み、強勢について理解しておく。
		事後学習	強勢をより正確に聞き取れるよう、付属CDを通じて繰り返し練習する。
第11回	ポーズ、ピッチとイントネーション	事前学習	Lesson 3&4 (p.36&38) を読み、ポーズ、ピッチとイントネーションについて理解しておく。
		事後学習	ピッチとイントネーションをより正確に聞き取れるよう、付属CDを通じて繰り返し練習する。
第12回	音のつながり (1) 連結	事前学習	Lesson 5 (p.40) を読み、連結について理解しておく。
		事後学習	連結をより正確に聞き取れるよう、付属CDを通じて繰り返し練習する。
第13回	音のつながり (2) 脱落	事前学習	Lesson 6&7 (p.46&48) を読み、脱落について理解しておく。
		事後学習	脱落をより正確に聞き取れるよう、付属CDを通じて繰り返し練習する。
第14回	音のつながり (3) 同化	事前学習	Lesson 8 (p.50) を読み、同化について理解しておく。
		事後学習	同化をより正確に聞き取れるよう、付属CDを通じて繰り返し練習する。
第15回	英語音声学に関する総括	事前学習	既習事項を整理して、不明瞭な点があれば質問の準備をしておく。
		事後学習	既習事項の総復習をして試験に備える。
期末試験			